



前期学校評価結果報告

7月には「学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果等から見えてきた、本校の取組の成果や課題・対応策等についてお知らせいたします。

平成31年度全国・石川県学力調査・学習状況調査（6年・4年／4月実施）の結果につきましては、後日改めてお知らせいたします。

(1)「考える・分かる・できる」(確かな学力の育成)

☆印は、昨年度と今年度で問い方を多少変更しています。

2019年度前期 湊小学校生活アンケート	児童	A+B (%)	昨年度 A+B	A+B (%)	昨年度 A+B	保護者
学習意欲の醸成	勉強して力がつくことはうれしい	98	98	84	77	勉強に意欲的に取り組んでいる
基礎学力の定着	☆授業で学んだことを復習している。	84	80	68	70	☆授業で学んだことを復習している
	わたしは、毎日、家で(学年×10分)勉強している	91	84	78	76	学年×10分(1・2年生は20分)勉強している
授業力の向上	☆授業の内容がよくわかる	94	93	88	90	☆「授業がよくわかる」と言っている
	授業で考えるのは楽しい	96	84			
活用力の育成	☆自分の考えや学んだことを、文や図を使って書いている。	90	82			
	ノートをいねいに書いている	84	79	67	73	ノートを丁寧に書いている
質の高い 読書活動の推進	目標の冊数以上本を読んでいる 低・中:40冊以上 高:30冊以上	83	77	70	68	よく本を読んでいる

「児童アンケート」の結果は、全ての項目でA(あてはまる)またはB(どちらかというにあてはまる)とした子が8割を越えました。特に「勉強して力がつくことはうれしい」「授業の内容がよくわかる」「授業で考えるのは楽しい」と答える子が多いということから、日々の授業改善の取り組みが生かされ、学習への意欲の向上につながってきていると感じています。教職員のアンケートでも、授業の工夫等については昨年度より向上しています。しかし「児童アンケート」と「保護者アンケート」の結果を比較すると、同じような結果になっていない項目が複数あります。学校と家庭とで学習に臨む姿勢や様子に差があったり、児童と保護者で目標とするハードルの高さが異なるところもあったりするのかもしれませんが。



対応策

※基礎・基本の定着を図るため、朝学習や補充学習を計画的に行うとともに、定期的に定着度を確認します。また、丁寧に個別指導も行っていきます。

※相手意識をもって、自分の考えを書いたり話したりする場面を大切にします。また、言葉や図などを上手に使う自分の考えをわかりやすくまとめているノートや話し方を共有していきます。

※家庭学習が充実するよう、課題の質や量を吟味します。

※教職員の授業力向上のため、授業改善・研修会を充実させます。

(2)「思いやりを形に」(豊かな心の育成) ★印は新しい項目です。

☆印は、昨年度と今年度で問い方を多少変更しています。

2019年度前期 湊小学校生活アンケート	児童	A+B (%)	昨年度 A+B	A+B (%)	昨年度 A+B	保護者
規範意識の醸成	授業の前に学習の準備をしてチャイム着席している	89	85	98	94	自転車に乗るときはヘルメットをかぶり、飛び出ししないように声掛けをしている
挨拶の徹底	☆自分から挨拶している	94	91	89	88	あいさつをきちんとしている
生活習慣の定着	★清潔を保つために爪を切り、ハンカチを交換している	92		84		★爪を切り、ハンカチを交換している
	☆早寝・早起き、歯みがきをしている(※歯みがきを追加)	89	80	78	74	☆決まった時刻に起きたり寝たりするなど、規則正しい生活をしている
道徳教育の充実	友達に対して、思いやりの心で行動している	92	88	95	91	友だちに対して、思いやりの心で行動している
	先生や友達がいる、学校は楽しい	96	95	91	94	学校に行くのが楽しいと感じている
	自分のよいところが言える	77	74	81	76	お子さんは自分のよいところが言える

児童・保護者共に3つの項目でAまたはBの回答がアップしています。学校での取り組みだけでなく、ご家庭での声かけ等が児童の意識や態度の向上につながっていることを感じます。また、本校では、健康委員会が毎月「つめ・ハンカチ調べ」をしてよくできているクラスを表彰しています。こうした取り組みや学級での指導により、児童の「清潔を保とう」とする意識も高まりつつあります。しかし、あいさつに関しては、児童の自己評価が高い反面、保護者や教職員(A+B:約60%)、地域の方からの評価はそれほど高くはありません。また、「早寝・早起き」についても、保護者の評価との差が気になります。現状に満足せず、もう一段高いレベルを目指してほしいものです。

対応策

※日々の生活の中で、「なぜそうすべきなのか」を考える機会を設けながら、「自ら~しよう」という意識・態度を育てていきます。

※「~してよかった」の経験を重ねることで、100%を目指すよう働きかけていきます。

【裏面に続きます】

(3) 「全力で挑戦」

★印は新しい項目です。
☆印は、昨年度と今年度で問い方を多少変更しています。

2019年度前期 湊小学校生活アンケート	児 童	A+B (%)	昨年度 A+B	A+B (%)	昨年度 A+B	保護者
自己有用感の育成	☆縦割りグループでは積極的に活動し、グループの人と協力している	96	93	92		★お子さんに、よく「ありがとう」など感謝の言葉を伝えている
体育・健康教育の充実	体育の時間やその他の時間に体をよく動かし、体力がついてきている	93	91	97	96	お子さんは、毎日朝食をとっている

縦割りグループでの活動では、上級生が全体を見て上手に指示を出したりよいお手本を示したりしてくれている姿よく見かけます。それぞれの立場で学年に応じたためあてをもって活動する中で、たくさんのお話を学んでほしいと思います。

本校では体育の時間やその他の時間に「身体を動かすことが好き」と回答する子どもがいつもたくさんいます。しかし、「全国体力・運動能力調査」の結果を見ると、調査対象学年の男女とも、持久力や柔軟性等に課題が見られます。楽しく体を動かしながら、体力（運動能力）の向上を図っていく必要があります。

対応策

※これまでの縦割り活動(掃除、縦割り遊び等)に加え、地域の清掃活動等で、ボランティア活動への参加と地域貢献からも、自己有用感を高めていきます。

※体育の授業や休みの時間を活用し、持久走やなわとびに取り組みます。各学年の目標を意識できるよう啓発しながら活動し、体力や技術の向上に努めます。

(4) 課題への取り組み

☆印は、昨年度と今年度で問い方を多少変更しています。

2019年度前期 湊小学校生活アンケート	児 童	A+B (%)	昨年度 A+B	A+B (%)	昨年度 A+B	保護者	
12	いじめへの対応	86	81	91	87	☆お子さんのことで、いじめなど困ったことがあるときは、学校に相談できる	
13	保護者と連携した児童の健全育成	/			97	93	学校は、おたよりやHPなどで、学級や学校のことを知らせている
		/			80	76	学校行事や育友会行事に、積極的に参加している

いじめへの対応については、どちらも100%をめざします。また、子どもには毎月の「友だちアンケート」（記名・無記名）を実施するとともに、学期に一度以上の担任による児童全員への相談（面談）も行っています。

今年度も、学年行事を参観日に行ったり他学年との日程調整を行ったりして、保護者のみなさんが参加しやすいように工夫をしました。育友会行事では、「湊ふれあい夏祭り」をはじめ「資源回収」「環境整備作業」に多くの保護者の皆様にご協力いただき、感謝しています。

対応策

※子どもたちが悩みを気軽に相談できる環境づくりに努めます。また、日々の学校生活の中でアンテナを高くし、未然防止・早期発見に努めていきます。

※育友会と連携して、保護者のニーズに合った育友会行事の企画に努めるとともに、保護者の方々が参加しやすい学校行事になるように努めます。

お知らせ・お願い

「秋の校外学習」を実施します

昨年は秋にバス遠足を実施しましたが、今年度は白山市のスクールバスを活用した「校外学習」を実施します。

教科の学びを広げるために、校外へ出て体験学習を行いたいと考えています。また今年度は春に10連休がありましたので、今後もしも流行性疾患等による学校・学級閉鎖などで授業時間を削減することがあっても、定められた時数をしっかり確保できるようにしたいとの思いもあります。

スクールバスや施設との調整により、各学年の実施日が異なり保護者の皆様にはお弁当の準備等でお手数をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- | | |
|------------|--------------|
| 1・2年生〈生活科〉 | ・・・10月24日（木） |
| 3・4年生〈理科〉 | ・・・10月17日（木） |
| 5・6年生〈理科〉 | ・・・10月31日（木） |

※ 校外学習の日は、実施学年はお弁当持参となります。
それ以外の学年は、給食があります。

